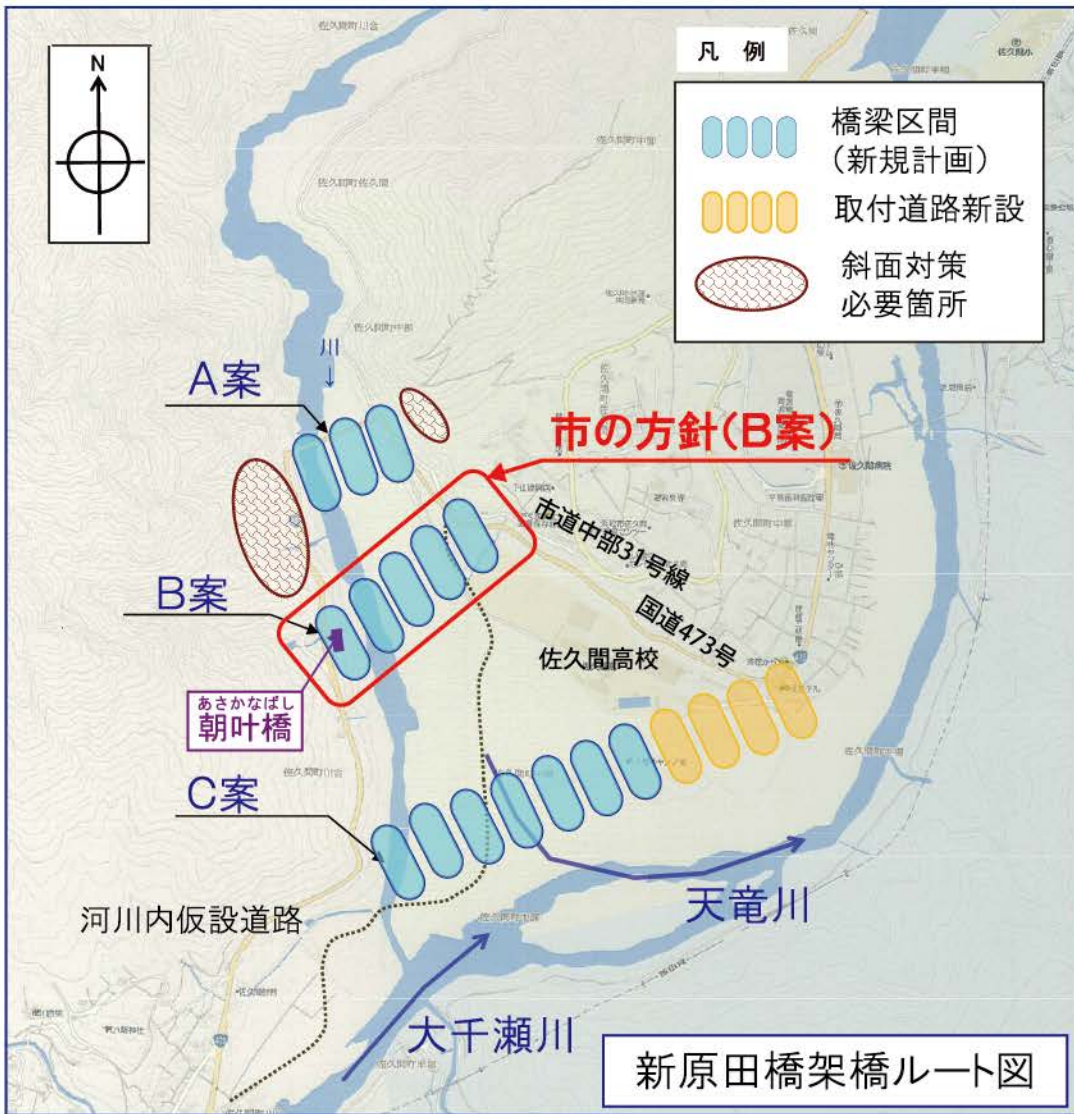


平成27年7月29日(水)第3回原田橋に関する意見交換会を開催しました。

(会場：佐久間歴史と民話の郷館小ホール)

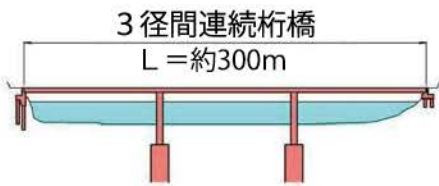
◆新橋架橋ルートについて

同日、実施された浜松市長の記者会見にて、新橋架橋ルートとして「B案」を採用し検討をすすめていく方針であることが発表され、その内容が説明されました。

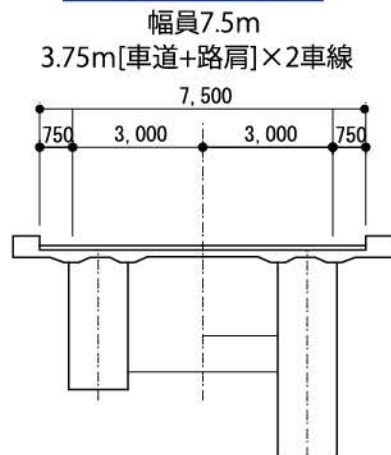


橋梁形式

橋梁形式は、概略設計段階での案のため、今後変更になる可能性があります



標準断面図



新橋取合位置

- 左岸側取合部
市道中部31号線に接続
国道473号と市道中部31号線の往来は確保する
- 右岸側取合部
朝叶橋下流部付近

<意見交換の内容>

構成員の意見

浜松市の回答

取合部について

- 市道中部31号線は、狭いのでスムーズに交通が流れるようにしてほしい。
- しっかり斜面調査を行い、安全対策を行ってほしい。
- 国道473号と市道中部31号線の往来方法について、使い勝手に十分留意してほしい。
- 国道473号と市道中部31号線の高低差はどの程度あるのか？

- 市道中部31号線は、落石の対策の検討も含め、道路の線形の見直しを行い、スムーズに流れるよう工夫していく。
- 現在、国道473号と市道中部31号線の接続部は鋭角となっているので曲がりやすい形での改良を考えていく。
- 市道中部31号線は国道473号より約10~15m高い。市道に新橋を取付けることで、縦断勾配を緩やかにできる。

地元説明

- 設計の過程において、景観や利用方法等について、地元意見を聞く機会を設けてほしい。
- 地元説明は、現地で行うなどわかりやすい方法で行ってほしい。

- 設計の目途がついた時点で、意見交換会や地元説明会を行っていく。

工期短縮

- 生活や経済活動などに大きな影響がでている。できるだけ早い完成を望む。

- できるだけ早く完成できるように努力していく。

その他

- 佐久間高校敷地への影響はあるのか？
- 新橋建設工事期間中の仮設道路の扱いはどうなるのか？

- テニスコート周辺が議論になってくる。設計に入る段階で、協議させてもらい、できるだけ影響のないよう検討する。
- 必要に応じて、仮設道路を付け替えるなど、安全第一に対応していく。

◆仮設道路について

平成27年6月30日 新たな仮設道路を供用開始（延長約1,260m 幅員4.0～6.3m）



潜水橋完成状況(延長L=43.5m、幅員W=6.28m)



河川内盛土部



旧仮設道路
新仮設道路



佐久間IC周辺 2車線確保により
滞留箇所を現道より変更

6月30日～7月29日の通行止め状況

通行止め期間	理由
①7/ 2(木)AM 6:00～7/ 5(日)PM 9:00	佐久間ダム放流
②7/ 8(水)PM 6:00～7/ 9(木)PM 5:00	佐久間ダム放流
③7/16(木)PM 5:14～7/21(火)PM 5:00	大雨洪水警報発表 佐久間ダム放流
④7/23(木)PM 6:00～7/26(日)AM11:00	佐久間ダム放流

①の通行止め時

最大放流320m³/s 放流時
潜水橋桁下まで水位上昇
一部損傷
橋梁部と盛土部取合部
上流部が洗掘
潜水橋・盛土部：損傷無し



盛土部の冠水は無し

潜水橋桁下近くまで水位上昇

③の通行止め時

最大放流580m³/s 放流時
河川内仮設道路は全て冠水
盛土部がほとんど流出
潜水橋、袋詰め玉石：損傷無し



盛土部・潜水橋：冠水

仮設道路損傷状況



潜水橋の損傷無し



玉石袋詰め
損傷無し

構成員の意見

浜松市の回答

座長より

潜水橋の延長	・潜水橋により復旧が早くなった。潜水橋を延長してもらいたい。	・二輪車の通行も含め、総合的な改善方策の検討を進めている。	・毎日の生活の中で、安全・確実に安定した移動が第一であるが、だからと言って、警報での通行止めが、イソップ童話のオオカミになってはならない。このことを前提としながら、工夫をお願いしたい。
通行止めの短縮・二輪車への対応	・大雨警報が出て、即通行止めとなったが、この地域では雨が降っていなかったため混乱した。現場を確認し、日常生活への支障を小さくするよう配慮してほしい。 ・警報と二輪車の回答を早くしてほしい。 ・ダム放流の時、通行止めとなってから実際のダム放流まで2時間あった。この時間差はどうしてか？	・警報で止めるのが安全であるが、その扱いについても検討している。 ・二輪車と警報については、検討を進めているので、もう少し時間をいただきたい。 ・仮設道路内に設置してある安全施設の撤去のため、2時間前に通行止めとしている。ご理解願いたい。	・ダム放流終了後、いかに早く利用できるようにするかが重要である。リードタイムを減らす方法や工夫に努めてもらいたい。
情報提供	・通行止めの解除の手順を教えてください。休日における市職員の対応を確認したい。 ・同報無線が聞こえづらい箇所がある。また、放送内容がまわりくどくてわかりにくい。簡潔の告知をしてもらいたい。	・市職員が現地確認し、修繕の必要がある場合は業者を手配。復旧作業の状況により通行再開の目安を同報無線などでお知らせ。復旧作業後、市職員によって安全確認を行った後に通行再開となる。休日であっても、早期に通行再開できるよう、市職員は現場に行き対応している。	・仮設道路と長く付き合うために、生活や各種活動のスタイルを変えなければならないことも少なからず生じるものと考えられる。土木部だけではなく、他部署と連携し、生活や色々な活動に支障がない状況をつくる努力が必要である。
河川環境の保全	・仮設道路の復旧に、事前に使わないよう伝えてあったシルト質の土（崩落した土）を客土として使っている。このままでは、河川環境が荒廃してしまう。シルト質の堆積物の除去が必要である。	・現地を確認し、今後の対応について相談させてもらいたい。	
その他	・仮設道路を5年間使うとなると、学校運営において総合的対応が必要となる。		

<座長まとめ>

これからしばらくの間、仮設道路と付き合っていかなければならない。安全・確実に安定した移動、安心した生活を営む上で、マニュアルを確実に実践することももちろん重要である。マニュアルでは済まない想定外のことや、色々な問題が発生することが考えられる。これらに対して、浜松市だけでなく住民の皆様にも知恵を絞っていただき、よりよい解決策を考えていくことが大切である。これを通じて、住民と浜松市が連携し共にスパイラルアップしていくことが望まれる。

浜松市より

◆ 報告:これまでの意見への対応

- ・佐久間高校入口 → 看板位置を是正し、段差そのものを段差の改良
- ・路面の凸凹の改善 → 週1回だった路面補修を、常に現場状況を確認し、頻度を増加
- ・ほこり対策 → 路面の状況に応じ適宜散水を実施
- ・二輪車通行止め告知の徹底 → 「二輪車通行不可」の看板を35枚追加設置
- ・愛知県内の電光 → 電光掲示板の管理者に依頼し、表示掲示板表示の修正を変更（左写真参照）



◆ 今後に向けて

現在のような形での意見交換会は今回で終了となりますが、これからが本当の意味での始まりと考えております。浜松市としては、これまでの意見交換会とは異なる形になりますが、進捗状況や地元の要望に応じて、今後も意見交換会や地元説明会を開催することで、住民の皆さんとのコミュニケーションを図り、情報提供していきたいと考えております。